

これからのイノベーションを考える  
Consideration about the innovation in the future

# 渡邊 昇治

Shoji Watanabe

経済産業省 産業技術環境局 審議官  
Deputy Director-General,  
Industrial Science & Technology Policy and Environment Bureau,  
METI (Ministry of Economy, Trade and Industry)

**日時:** 2019年10月3日(木) 14:55-16:40  
**会場:** 東京大学工学部2号館2階223号講義室  
**授業科目:** 工学リテラシーⅡ(科目番号3799-150)

概要:

少子高齢化、環境エネルギー制約、セキュリティリスク、防災などの社会的課題の解決及び日本の産業競争力の向上のためには、研究開発に基づく革新的なイノベーションが必要である。しかしながら、日本には有力な大学、企業等が多数存在するのに対して、イノベーション力の評価は高いとは言えない。日本が新たなイノベーションを次々と産み出していくためには、日本にとって重要な技術に関する検討、産学連携や企業間連携などのオープンイノベーションの促進、知的財産権の適切な管理や戦略的な国際標準化活動、優秀な人材の育成や確保などの対応が必要ではないか。これらに関して現状と課題及び今後の動向等を考察する。



主催: 東京大学大学院工学系研究科「機械システム・イノベーション」プログラム (GMSI)  
東京大学 社会構想マネジメントを先導するグローバルリーダー養成プログラム (GSDM)  
未来社会協創 国際卓越大学院 (WINGS CFS)  
本件連絡先: 東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻 教授 横野 泰之  
GMSIプログラム事務局 E-mail: [office@gmsi.t.u-tokyo.ac.jp](mailto:office@gmsi.t.u-tokyo.ac.jp) Phone: 03-5841-7437